

市 の 素 案	委 員 意 見 等	
基本目標 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	【工藤委員意見】 ・若年層が希望を持てる労働と職場 ・失業者を増やさない ・雇用創出 ・就業の機会均等 ・セーフティネットが網羅 【田村委員意見】 「<u>市民による元気な経済</u>が生まれ、安心して働ける街さっぽろ」 下線は主な変更点	【工藤委員意見】 ・大企業は、違法なサービス労働を一掃し、女性、高齢者、障がい者の雇用を積極的にすすめている。 ・中小・零細企業は、様々な支援を有効に活用しながら、さっぽろの、人・物を生かした産業、新たな技術の開発にチャレンジしている。 ・新卒者や若者が希望を持って働いている。 ・失業者しても長期的失業状態には陥らない、就労のためのきめ細かい支援がある。 ・市と、札幌市内の公的機関、公共施設、公共事業に従事する民間労働者の、国を上回る最低賃金、労働条件の確保が条例で定められる。 ・公契約条例が適用される範囲での、シングルマザー、若年層、障がい者の優先雇用枠がある。 ・優良企業の公表、悪質な企業への委託・発注差し止めにより、企業努力が高まり、企業間の公正な競争が生まれている。
望ましい街の姿（基本目標レベルで目指す将来像） ■ 多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民やNPOは、積極的に起業に挑戦しています。また、本市の様々な資源を生かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術が札幌ブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活力に満ちています。働く側にとっても、多様な就労の機会が充実しています。 また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れるとともに、数々のコンベンションが開催され、様々な地域の人々や産業、文化が交流することにより、まちは活気に満ちています。	【高田委員意見】 ■ 北方圏に位置する札幌市は、かつて冬のオリンピック開催都市として、その轟きを、世界に発信しましたが、今、再び郷土愛に燃える市民達は、時代の変化に迅速に対応し、新たな街づくりに果敢に取り組んでいます。 これまでの豊富な人材集積、そしてきめ細やかな支援制度は、多様な中小企業をはじめ、NPO起業の活発化により、高い競争力を有する産業が育ち、経済の活発化は、雇用においても、充実、市民一人一人に活力が漲っています。また、四季を通じて、国内外からの観光客は、街に溢れ、数々のコンベンション開催と共に、その経済文化の交流は、世界に発信する情報都市、札幌です。	【田村委員意見】 ■ 多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民やNPOは、<u>夢実現のため積極的に起業に挑戦しています。また、本市の機能は世界のどの都市よりも効率的で各事業ごとに市民委員が監査することにより外郭団体も含め最大限スリム化、詳細まで情報公開されることにより、民間主導で様々な資源を生かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術が札幌ブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活力に満ちています。働く側にとっても、多様な就労の機会が充実しています。</u> また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れ、<u>また定住者も増える</u>とともに、数々のコンベンションが開催され、様々な地域の人々や産業、文化が交流することにより、まちは活気に満ちています。
重点戦略課題 中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援 安心して働ける環境づくり 協働による観光振興とコンベンション事業の推進 さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出 アジアの産業ネットワークの拡大	【田村委員意見】 中小企業や創業に挑戦する市民への<u>実効性の高い</u>支援 観光振興と<u>海外からの定住者支援</u> さっぽろの知恵を活かした産業の創出	【修正案（「安心」などに関する記述追加。1Pと同じ）】 ■ 多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民やNPOは、積極的に起業に挑戦しています。また、本市のさまざまな資源を活かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術が札幌ブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活力に満ちています。 <u>働く側にとっても、男性女性ともに、多様な就労の機会が充実するなど、生きいきと安心して暮らしています。</u> また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れるとともに、数々のコンベンションが開催され、さまざまな国、地域の人々や産業、文化が交流しており、<u>外国人も暮らしやすいなど国際都市としての環境づくりも進み、</u>まちは活気に満ちています。

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】中小企業や創業に挑戦する市民への実効性の高い支援

市 の 素 案	委 員 意 見 等
（仮称）戦略目標 札幌の経済を担っている多様な中小企業が，常に時代の変化に敏速に対応し，新たな事業に果敢に取り組んでおり，また，豊富な人材集積やきめ細やかな支援制度を背景に市民や NPO による起業が活発化し，持続的な経済の活力が生まれています。	【田村委員意見】 札幌の経済を担っている多様な中小企業が，常に時代の変化に敏速に対応し，新たな事業に果敢に取り組んでおり，また，豊富な人材集積や実効性の高い支援制度を背景に市民や NPO による起業が活発化し，持続的な経済の活力が生まれています。
現状と課題 ○市内に所在する企業は，9 割以上が中小企業 ○金融機関の貸し出し姿勢が抑制的なこと等により企業に資金が行き渡らない事例も散見 ○充実した人材育成や情報収集の仕組みを持つ企業は多くはない ○市内の企業数は減少傾向（廃業率が開業率を上回っている） ○開業率（高い順に：卸売・小売業・飲食店，運輸・通信業，金融・保険業，サービス業，・・・） ○廃業率（高い順に：卸売・小売業・飲食店，金融・保険業，運輸・通信業，建設業，・・・） ○起業を目指す市民が積極的に開業し，自立的企業となることが可能な環境整備 ○起業だけでなく，新事業，新分野へチャレンジする企業等に対する支援	
各主体の主な役割 市民 ・新規創業へのチャレンジ ・ベンチャー企業への理解・投資 など 企業等 ・新事業・新分野への展開 ・技術開発への積極的な取り組み など N P O 等 ・身近な生活サービス分野でのビジネス展開 など 行政 ・ 企業支援制度の拡充 ・ 創業支援体制の強化 ・ 新しい産業分野に関する情報提供 など	【田村委員意見】 市民 企業等 N P O 等 行政 同左 ・ 資金面での企業・起業支援制度充実に特化 ・ 民間主導の原則を尊重し、行政は組織を極限までスリム化し運営コスト引き下げる。

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】中小企業や創業に挑戦する市民への実効性の高い支援

市 の 素 案	委 員 意 見 等	
施策の基本方針 ■「札幌元気基金」の枠組みづくりを進め，ニーズに応じた効果的な資金面での支援を強化する ■専門家によるアドバイザー制度・人材育成や情報提供の充実など，きめ細やかな支援を行う	【高田委員意見】 中小企業再生アラカルト 中小企業の活性こそ，札幌市経済の活力と期待されるが，これら業種についての分類は，多種に亘り，規模，内容においても様々で，故に組織結集の難しさ等，マイナー感覚で，とらえられることが多い。 個々においての資金面等，財務関係の相談はあっても，プロデュース感覚においての相談体制は限られてきたと考える。 しかし，今はこの問題こそ，中小零細企業の生きる力，自信を取り戻す鍵でもある。元気基金はもとより，トップマネジメントいわゆる経営者の自己啓発等，トレーニングをはじめ，業種別の組織の構築により，セミナーの開催，又異業種交流による情報発信等で，札幌ブランドの成果も期待され，勿論，中小零細企業の再生が叶えられるであろう。 記 1 企業経営者の情報と自己啓発トレーニングの必要 2 分類別組織開発への指導と育成 3 異業種交流についての成果と札幌ブランド 4 分類別企業のコンペ開催 産業振興財団の活性化を期待して 様々な事業分野からなる産業振興財団の今日的役割は大きく，札幌のシンクタンクに等しいと受け止める。ドライ，ウェット，ハード，ソフトと横文字を並べたが，あらゆる感性を駆使しての札幌市活性化への誘致運動，即ちプロモーションであり，又，中小零細企業への指導相談等，きびしい事業内容と考える。 最近の他都市の状況においても，それぞれ街づくりに懸命の努力をしており，誘致については非常に難しくなっている。 開拓時代の歴史観ある札幌らしさを強調し，いかに事業を推進していくか斬新，緻密，信頼，決断，市民との価値観の共有，フットワーク，いろんな要素が求められるが，民間人の導入は，活性化への一つの手段でもあり，ボトムアップ気概を持って進めて欲しい。 成熟した社会において，成果と評価は当たり前前の時代に入ってきた。それだけに，市民みんなが共有しあえる街づくりこそ，札幌の活力が漲るのである。財団組織の活性化を期待しながら。	【田村委員意見】 □施策の基本方針 ■「札幌元気基金」の枠組みづくりの<u>実効性を高めるため市民検討委員会をつくり意見を取り入れて進め</u>，ニーズに応じた効果的な資金面での支援を強化する □施策 <資金面での支援の充実> ○高い技術を有しながら担保不足等で融資を受けることが困難な企業や，<u>長期資金を拡充することで資金需要の対応力を高め同時に</u>、仕入れ・決済など短期の資金が必要な企業に対する支援策をも充実させる <人材育成，情報提供などきめ細やかな支援> ○<u>時代の変化に対応できる若くて機動力のある知識を有する人材の活用によるパートナー機能の充実</u> ○経済環境の変化にも高い適応力を有する実践的な人材の確保及び育成 ○タイムリーで企業経営に有益な情報の幅広い提供 <起業や新分野進出に関する支援> ○<u>現在の「札幌元気基金」の枠組では起業支援につながらない為、市民検討委員会（完全公募制）を創り実効性を高め起業や新分野進出関連に重点を置いた施策の実施。中小企業支援センターを財団で運営する意味がある様に市民委員（完全公募制）を定め、運営を見直し、事業の成果の検証を行い実効性の高いものとする。また、助成・補助事業の大幅な見直しを図り起業・新規事業にチャレンジする市民を社会保障面での公平な支援に切り替える。（起業支援は年金、保険の分野で公平で画一的な支援で行う。）</u>
施 策 <資金面での支援の充実> ○高い技術を有しながら担保不足等で融資を受けることが困難な企業や、仕入れ・決済など短期の資金が必要な企業に対する支援策の充実 <人材育成，情報提供などきめ細やかな支援> ○豊富な知識や経験を有する人材の活用によるアドバイザー制度の充実 ○経済環境の変化にも高い適応力を有する実践的な人材の確保及び育成 ○タイムリーで企業経営に有益な情報の幅広い提供 <起業や新分野進出に関する支援> ○「札幌元気基金」の枠組における起業や新分野進出関連に重点を置いた施策の実施 ○セミナーや交流会，事業計画の立案や資金計画の策定についての相談業務等の充実 ○コミュニティ活動の中心として地域に密着した商店街の活動や地域密着型市民事業（コミュニティビジネス）など，地域に根ざした事業活動に対する支援の充実	分科会での主な議論 ●札幌の中小企業の大部分を占める零細企業に着目した支援策を考えるべき ●従前と同じ制度での支援ではなく，新しい仕組みをつくる観点で考えるべき ●既存のやり方とは違う元気基金・支援施策 ●中小企業支援センターなどの制度の見直し ●新たな人材の投入などによる産業振興財団組織活性化と市民に目を向けた画期的な活動の展開 ●専門家ネットワークによる相談・支援機能を強化・PRするべき（経営の問題から家庭の問題までサポートできる相談員，相談体制） など	

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：安心して働ける環境づくり

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

市の素案	委員意見等										
（仮称）戦略目標 産業の円滑な構造転換や新たな産業の創出を背景に，時代にマッチした雇用が常に生み出され，高い求人倍率となっています。また，職業紹介のほか，相談やスキルアップのためのセミナーなど就労を支援する制度を活用した就職者が増加するとともに，ライフスタイルに応じた働き方が可能となり，少人数グループによる共同事業などの新たな就労のスタイルも増えてきています。	【田村委員意見】 産業の円滑な構造転換や新たな産業の創出を背景に，時代にマッチした雇用が常に生み出され，高い求人倍率となっています。また，職業紹介機能の充実により就職者が増加するとともに，ライフスタイルに応じた働き方が可能となるような企業に対する新しい雇用制度をつくる支援を行い、市職員の任期制を導入することで人材の流動化がすすみ新たな就労のスタイルも増えてきています。										
現状と課題 ○道内完全失業率は，全国を上回る厳しい数値 ○札幌圏有効求人倍率は，全国より低い水準。45歳以上の倍率は全体に比べ一段と低倍率。また，事務的職業の倍率は低いのに対し保安の職業の倍率は高い状況 ○働く側にとっては，働き方が様々なライフスタイルや職業観に対応できていない状況。特に，意欲を持った主婦層や高齢者に対する雇用の受け皿が不足 ○建設業等構造不況業種の経営状況の悪化											
各主体の主な役割 <table border="1"> <tr> <td>市民</td><td> ・ 地域社会への積極的な参加 ・ 職業能力の向上や自己啓発，職業訓練への主体的な参加など </td></tr> <tr> <td>企業等</td><td> ・ 地域に密着した企業活動と雇用の場の創出 ・ 多様な就労形態や就労機会の提供 など </td></tr> <tr> <td>NPO等</td><td> ・ 雇用によらない新たな働き方や多様な就労形態による就労機会の提供 など </td></tr> <tr> <td>行政</td><td> ・ 雇用のマッチング機能の強化・拡大（総合的な就労支援の場の提供，求人情報や各種助成制度などの情報提供） ・ 多様な働き方の支援（いずれも国，道，市との協働による） ＜ 民間ノウハウの積極的な活用 ＞ など </td></tr> </table>	市民	・ 地域社会への積極的な参加 ・ 職業能力の向上や自己啓発，職業訓練への主体的な参加など	企業等	・ 地域に密着した企業活動と雇用の場の創出 ・ 多様な就労形態や就労機会の提供 など	NPO等	・ 雇用によらない新たな働き方や多様な就労形態による就労機会の提供 など	行政	・ 雇用のマッチング機能の強化・拡大（総合的な就労支援の場の提供，求人情報や各種助成制度などの情報提供） ・ 多様な働き方の支援（いずれも国，道，市との協働による） ＜ 民間ノウハウの積極的な活用 ＞ など	【田村委員意見】 <table border="1"> <tr> <td> 市民 企業等 NPO等 行政 </td><td> 同左 ・ <u>民間ノウハウの積極的な活用</u>で雇用のマッチング機能の強化・拡大を民間主導で行なえるようにする。 ・ 多様な働き方の支援 ・ <u>市職員の任期制の導入</u> </td></tr> </table>	市民 企業等 NPO等 行政	同左 ・ <u>民間ノウハウの積極的な活用</u>で雇用のマッチング機能の強化・拡大を民間主導で行なえるようにする。 ・ 多様な働き方の支援 ・ <u>市職員の任期制の導入</u>
市民	・ 地域社会への積極的な参加 ・ 職業能力の向上や自己啓発，職業訓練への主体的な参加など										
企業等	・ 地域に密着した企業活動と雇用の場の創出 ・ 多様な就労形態や就労機会の提供 など										
NPO等	・ 雇用によらない新たな働き方や多様な就労形態による就労機会の提供 など										
行政	・ 雇用のマッチング機能の強化・拡大（総合的な就労支援の場の提供，求人情報や各種助成制度などの情報提供） ・ 多様な働き方の支援（いずれも国，道，市との協働による） ＜ 民間ノウハウの積極的な活用 ＞ など										
市民 企業等 NPO等 行政	同左 ・ <u>民間ノウハウの積極的な活用</u>で雇用のマッチング機能の強化・拡大を民間主導で行なえるようにする。 ・ 多様な働き方の支援 ・ <u>市職員の任期制の導入</u>										

基本目標：元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：安心して働ける環境づくり

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

市 の 素 案	委 員 意 見 等
施策の基本方針 ■再就職を目指す女性，中高年，若年等への総合的な就労支援体制づくりを，国等と連携し進める ■新たな働き方や多様な雇用の場の創出を図るなど，雇用の安定に取り組む ■建設業等の構造不況業種について総合的な支援策を実施する	【田村委員意見】 ■再就職を目指す女性，中高年，若年等への総合的な就労支援体制づくりを，国等と連携し進める ■新たな働き方や多様な雇用の場の創出を図る<u>ために市職員の任期制の導入の検討など新たな試みを進め</u>，雇用の安定に取り組む 【田村委員意見】 <積極的な就労支援> ○再就職を目指す女性，中高年者や若年層などの方々が就労するための総合的な支援体制の整備 ○若者の職業意識の形成，啓発<u>の実効性を高めるため事業アイデアを公募し運営を委託、実績を評価できるようにする。</u> ○地域に埋もれた求人の拡大を民間主導で行なえる様、市民委員会（完全公募制）を創り検討し実施する。 ○ＳＯＨＯ，事業協同組合，ワーカーズ・コレクティブなど雇用によらない働き方への支援 <多様な雇用機会の創出> ○コールセンターなど雇用効果の高い人材集約型産業の積極的誘致<u>してきているが、成果を検証し雇用対策として有効に機能しているか市民委員会（完全公募制）を創り検討する。</u> ○環境保全に向けた取組みの推進やコミュニティビジネス等の地域密着型事業の振興 ○就労形態が多様性をもてる様に<u>市民委員会（完全公募制）を創り検討し、実施する企業の支援を行なう。同時に市職員の任期制を導入し人材の流動化を進める。</u> <建設業等構造不況業種対策> ○高い技術力と組織力をもつ力強い建設業への転換 ○<u>近隣市町村との連携しながら建設業、運送業等の企業のノウハウを活かせる他分野への進出促進のため元気基金のベンチャー支援事業部分の予算をあて、成功事例をつくる。（6,500 万円の予算でグローバル企業を創るのは現状では厳しいので、これをあてる。）</u> 分科会での主な議論 ●専門家ネットワークによる相談・支援機能を強化・ＰＲするべき（最初の契約におけるトラブル対応 など） ●地域ビジネスの中で身近な雇用機会を創出できないか（ホームヘルパーのような在宅看護の分野での雇用創出 など）

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：協働による観光振興とコンベンション事業の推進

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】観光振興と海外からの定住者支援

市 の 素 案	委 員 意 見 等														
（仮称）戦略目標 四季が織りなす豊かな魅力に恵まれた観光都市としての優位性を一層高め，まちが人々を引きつけ，迎える市民のおもてなしでもう一度訪ねたくなるまちになっています。さらに，国内外の人々の交流を演出する多くのコンベンションの開催で，活気があり新たな市民文化を育むまちになっています。	【田村委員意見】 四季が織りなす自然豊かな魅力に恵まれた観光都市としての優位性を一層高め，まちが人々を引きつけ，迎える市民のおもてなしでもう一度訪ねたくなるまち、<u>住みたくなるまち</u>になっています。さらに，国内外の人々の交流を演出する多くのコンベンションの開催で，活気があり新たな市民文化を育むまちになっています。														
現状と課題 ○近年来札幌外国人数は増加しているものの，来札幌観光客数全体は横ばい。観光客の入り込み時期にばらつきがあり，年間を通じた安定した集客が必要 ○集客交流資源の付加価値づくり等，ハード・ソフトの資産を積極活用した新たな魅力発掘が必要 ○来客数を高めるにはホスピタリティの充実が必要 ○集客効果の高いコンベンション誘致をめぐる都市間競争 ○誘致宣伝活動の共同化や周遊ルート開発の促進など，札幌と道内観光地との連携が必要															
各主体の主な役割 <table border="1"> <tr> <td>市民</td><td>・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 など</td></tr> <tr> <td>企業等</td><td>・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 など</td></tr> <tr> <td>関係団体</td><td>・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 など</td></tr> <tr> <td>大学等</td><td>・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 ・集客交流に関する研究情報の発信 ・企業，行政との共同調査・研究 など</td></tr> <tr> <td>行政</td><td>・市民，NPO，企業，関係団体等との連携促進や支援 ・国・道・他市町村との連携促進による施策展開 など</td></tr> </table>	市民	・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 など	企業等	・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 など	関係団体	・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 など	大学等	・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 ・集客交流に関する研究情報の発信 ・企業，行政との共同調査・研究 など	行政	・市民，NPO，企業，関係団体等との連携促進や支援 ・国・道・他市町村との連携促進による施策展開 など	【田村委員意見】 <table border="1"> <tr> <td> 市民，NPO 企業，関係団体等 </td><td> ・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 ・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 ・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 ・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 など </td></tr> <tr> <td>行政</td><td>同左</td></tr> </table>	市民，NPO 企業，関係団体等	・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 ・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 ・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 ・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 など	行政	同左
市民	・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 など														
企業等	・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 など														
関係団体	・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 など														
大学等	・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 ・集客交流に関する研究情報の発信 ・企業，行政との共同調査・研究 など														
行政	・市民，NPO，企業，関係団体等との連携促進や支援 ・国・道・他市町村との連携促進による施策展開 など														
市民，NPO 企業，関係団体等	・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 ・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 ・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 ・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 など														
行政	同左														

基本目標：元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：協働による観光振興とコンベンション事業の推進

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】観光振興と海外からの定住者支援

市 の 素 案	委 員 意 見 等	
施策の基本方針 ■世界の集客交流都市の実現に向けて、観光やコンベンションの一層の振興に努める ■まち全体で誘致・PRやホスピタリティあふれるおもてなしを進め、また、芸術、文化等の資産を積極的に活用し、将来目標として来客2000万人を目指す	【高田委員意見】 札幌近郊の山なみ景観づくりを考える 国はこれまで森林については、木材の産出という生産的価値としての政策をとってきましたが、時の流れの中で、外材におされ、ままならず、森林づくりは放置されてきた傾向にありました。 ここにきて、京都議定書の問題、二酸化炭素、水資源の川、海等、地球における循環型環境問題に注目、美しい日本の景観を守ることへの森林、里山づくり等が大きく示されました。 このことは、私たちの住む札幌においても同じであり、郷土を愛する山なみの美しさに憧憬する市民たち、そして遠来の観光客にとっても、自然の風物詩は、心を癒す唯一のおもてなしです。この原点の機会なくして、札幌のロマンは語れなくなります。 一方、環境の保全、生態系を守るため、手をつけないという考え方もあり、難しい問題が多々あります。これで良いのか、荒れていくという現象も考えられます。 様々な問題をクリアーし、科学的に生態系を守り自然破壊を守るといふ、景観づくりの理論構成、そして科学実験をすることによって、札幌の山なみ構想も現実になる。 人づくりも時間、森林づくりも時間、タイムスリップして、新まちづくり計画市民会議が語られることもありましょう。あえて、山なみ構想を提言いたします。	【高田委員意見（続き）】 札幌の街なみ景観を考える 札幌の街なみ景観については、それぞれが、目立つことでカラフルな色彩感覚が多くあったが、今日、漸く、時期を失したものの、街なみについて考えるようになってきた。 このことは、成熟した社会の特徴とも考えられるが、都心ビル建設の場合、ビル権者の構想いかんによっては、それが無になることも多い。街なみを考える文化都市札幌へのビル権者の輩出を願い啓発すべきである。 ちなみに西武デパートは札幌の街なみ構想に、先駆的にレンガ緑化等で取り組んだ。 “札幌にすすきのあり” 札幌にすすきのありのイメージは、日本中に知られ、観光へのポストとしての存在感は大きい。 それだけに風俗、保安への対策は最も大切であり、犯罪のない街づくりをめざしていきたい。 “札幌に大通公園あり” 日本中を見ても、開拓史遺産の大通公園のような広場はない。世界に発信する文化情報のメッカ札幌市として、大道芸人の集積等により、表現活動のステージになることを期待する、観光のポストになる
施 策 <集客交流としての魅力の発信> ○都市型観光と豊かな自然を融合させた魅力を集客交流資源として積極的に活用 ○札幌の魅力を国内外に情報発信するシティPRの積極的な展開 ○映画等のロケーション誘致を推進するフィルムコミッション事業等による多角的なイメージアップ <ホスピタリティ向上の推進> ○まちぐるみでの観光案内機能や外国語標記の充実、啓発活動や研修の充実 <コンベンション誘致・支援の推進> ○コンベンション施設間の連携強化、利便性とサービスの向上、アフターコンベンション^注の充実 注 アフターコンベンション：コンベンションの後の観光旅行や視察・体験実習など ○行政、民間を問わないオール札幌としての機動的な誘致活動、様々な支援体制の整備 <住んで快適、訪ねて楽しいまちづくりの推進> ○都心、藻岩山、定山溪温泉など地域の魅力づくりを目的とした主体的な活動に対する支援 <道内と連携した魅力の発掘・アピール> ○他の道内観光地域との協力の一層の推進、情報のネットワーク化などでの先導的取り組み ○札幌・北海道がもつ魅力の国内外への強力なアピール	赤レンガと札幌 赤レンガ北海道庁舎は、いかに明治政府が北海道開拓に力を入れたかのバロメーターでもあり、日本の夜明けを感じさせる。 歴史的建造物遺産として、外観よし、内部の各部屋も荘重にして一見に値する。それ故に当時の開拓史の権勢を知ることができる唯一、観光の名所として、宝石に等しい歴史感がある。 また、庁舎前のプラザも観光名所として絶好であり、カフェテラスの活用等、期待したい。 札幌市、北海道との連携は必須である。	分科会での主な議論 ●札幌独自の芸術文化を積極的に活用、発信すべき ●魅力的な街並みや景観づくりを戦略的に展開するべき（山が紅葉でいっぱいになるくらいの色彩ある風景をボランティアでつくる取組み、大通公園のような人が大勢集まるところの景観づくり・日常的に使う工夫、官と民とのコミュニケーションをよくとること など） ●札幌の情報価値を高め、発信していくことを具体的に考えるべき（地域に目を向けた辛抱強い取組み など） など

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：協働による観光振興とコンベンション事業の推進

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】観光振興と海外からの定住者支援

市 の 素 案	委 員 意 見 等
施策の基本方針 ■世界の集客交流都市の実現に向けて，観光やコンベンションの一層の振興に努める ■まち全体で誘致・P Rやホスピタリティあふれるおもてなしを進め，また，芸術，文化等の資産を積極的に活用し，将来目標として来客 2000 万人を目指す	【田村委員意見】 ■世界の集客交流都市の実現に向けて，<u>観光の一層の振興</u>に努める ■まち全体で誘致・P Rやホスピタリティあふれるおもてなしを進め，また，芸術，文化等の資産を積極的に活用し，将来目標として来客 2000 万人を目指す
施 策 < 集客交流としての魅力の発信 > ○都市型観光と豊かな自然を融合させた魅力を集客交流資源として積極的に活用 ○札幌の魅力を国内外に情報発信するシティ P Rの積極的な展開 ○映画等のロケーション誘致を推進するフィルムコミッション事業等による多角的なイメージアップ < ホスピタリティ向上の推進 > ○まちぐるみでの観光案内機能や外国語標記の充実，啓発活動や研修の充実 < コンベンション誘致・支援の推進 > ○コンベンション施設間の連携強化，利便性とサービスの向上，アフターコンベンション^注の充実 注 アフターコンベンション：コンベンションの後の観光旅行や視察・体験実習など ○行政，民間を問わないオール札幌としての機動的な誘致活動，様々な支援体制の整備 < 住んで快適，訪ねて楽しいまちづくりの推進 > ○都心，藻岩山，定山溪温泉など地域の魅力づくりを目的とした主体的な活動に対する支援 < 道内と連携した魅力の発掘・アピール > ○他の道内観光地域との協力の一層の推進，情報のネットワーク化などでの先導的取組み ○札幌・北海道がもつ魅力の国内外への強力なアピール	【田村委員意見】 < 集客交流としての魅力の発信 > ○都市型観光と豊かな自然の魅力を集客交流資源として積極的に活用 ○札幌の魅力を国内外に情報発信するシティ P Rの方法を民間（在留外国人を含む。）の意見を取り入れ展開する。 ○映画等のロケーション誘致を推進するフィルムコミッション事業を市民と共に推進し、同時に映像資料、建物の保存をすすめ「映像ミュージアム」等をつくり芸術・文化の観光資源とする。 < ホスピタリティ向上の推進 > ○観光案内機能や外国語標記の充実，啓発活動や<u>医療の充実をすすめる。</u> < コンベンション誘致・支援の推進 > ○利便性とサービスの向上，アフターコンベンションの充実の一環として商業地の活性化を図るアイデアを市民から公募し実現する。 ○行政，民間を問わないオール札幌としての<u>実効性の高い誘致活動</u>，支援体制の整備 < 住んで快適，訪ねて楽しいまちづくりの推進 > ○都心，<u>四季を通じて美しい藻岩山</u>，定山溪温泉など<u>地域の自然の魅力</u>を高め，<u>訪れたひとが住みたくくなるようなまちづくり活動に対する支援の強化</u> < 道内と連携した魅力の発掘・アピール > ○他の道内観光地域との協力の一層の推進をはかるため札幌市、石狩支庁及び市民で組織される市民会議で取り組む。 ○札幌・北海道がもつ魅力の国内外への<u>効率的なアピール</u>

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】さっぽろの知恵を活かした産業の創出

市 の 素 案	委 員 意 見 等								
（仮称）戦略目標 市内に多数ある大学や研究機関，集積が進んだＩＴ系企業群などを核に「知のネットワーク」が形成され，高い競争力を有する新たな産業が生まれるとともに，様々な分野で中小企業が意欲的に新しい事業にチャレンジし，そこで生まれた新製品や技術が，札幌の高い都市イメージと結びつき「札幌ブランド」として世界に発信されています。	【田村委員意見】 市内に多数ある大学や研究機関，集積が進んだＩＴ系企業群などを核に「知のネットワーク」が形成され，高い競争力を有する新たな産業が生まれるとともに，様々な分野で中小企業が意欲的に新しい事業にチャレンジし，<u>そこで生まれた新製品や技術が，札幌発のブランドとして</u>世界に発信されています。								
現状と課題 ○大学等研究機関が集積。蓄積された研究シーズの活用により，多くの産業分野で発展が期待されるため，産学官連携の積極的推進が必要 ○ＩＴ関連産業が集積。今後は，ＩＴ産業自体の競争力強化，ＩＴを活用した新たな産業分野の創出・育成及び既存産業の高度化などが課題 ○市内産業全体の活性化を図っていくうえで，地場製品について，デザイン面など高い付加価値とブランドイメージの構築など新たな戦略が必要	【田村委員意見】 ○新たな産業分野の創出・育成及び既存産業の高度化などが課題 ○市内産業全体の活性化を図っていくうえで，地場製品について，デザイン面など高い付加価値とブランドイメージの構築など新たな戦略が必要								
各主体の主な役割 <table> <tr> <td>市民</td><td> ・環境に配慮した適切な交通手段の選択と行動 ・まちづくり活動への参加 など </td></tr> <tr> <td>企業等</td><td> ・企業活動における公共交通利用 ・公共交通の利便性向上（交通事業者） ・まちづくり指針に即した事業展開 など </td></tr> <tr> <td>NPO等</td><td> ・交通に関する提言や実験などの活動 ・まちづくりについての提言 ・まちづくり活動の企画・運営 など </td></tr> <tr> <td>行政</td><td> ・公共交通が利用しやすい環境の整備 ・交通事業者への支援 ・都心再生を先導する基幹的な都市基盤整備 など </td></tr> </table>	市民	・環境に配慮した適切な交通手段の選択と行動 ・まちづくり活動への参加 など	企業等	・企業活動における公共交通利用 ・公共交通の利便性向上（交通事業者） ・まちづくり指針に即した事業展開 など	NPO等	・交通に関する提言や実験などの活動 ・まちづくりについての提言 ・まちづくり活動の企画・運営 など	行政	・公共交通が利用しやすい環境の整備 ・交通事業者への支援 ・都心再生を先導する基幹的な都市基盤整備 など	
市民	・環境に配慮した適切な交通手段の選択と行動 ・まちづくり活動への参加 など								
企業等	・企業活動における公共交通利用 ・公共交通の利便性向上（交通事業者） ・まちづくり指針に即した事業展開 など								
NPO等	・交通に関する提言や実験などの活動 ・まちづくりについての提言 ・まちづくり活動の企画・運営 など								
行政	・公共交通が利用しやすい環境の整備 ・交通事業者への支援 ・都心再生を先導する基幹的な都市基盤整備 など								

基本目標：元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】さっぽろの知恵を活かした産業の創出

市 の 素 案	委 員 意 見 等
施策の基本方針 ■ 大学などの研究機関がもつ知の資産と産業とを結び、新たな産業をつくる ■ デザイン産業を振興し、札幌ブランドを発信する	【田村委員意見】 ■ <u>民間企業</u>、研究機関がもつ知の資産と産業とを結び、新たな産業をつくる ■ デザイン産業を振興し、札幌発のブランドを発信する
施 策 < 大学の知恵とITを活用した新産業の創出と既存産業の高度化 > ○ 本市で培ってきた産業資源の有効活用による、IT関連産業と他の産業分野の連携促進、市場の拡大が見込まれるデジタルコンテンツ分野の振興 ○ 大学等の地域研究機関の研究成果と地域産業が持っている技術などの連携・融合による、ライフサイエンス^注、環境、福祉などの分野における技術力向上、新産業の創造 注 ライフサイエンス：生命科学。生命現象について、生物学を中心に化学・物理学などの基礎的な面と、医学・心理学・人文社会科学・農学・工学などの応用面とから総合的に研究しようとする学問 ○ ITを活用した既存産業分野の経営改善、競争力強化による、産業全体の高度化、新たな事業分野への進出促進 < デザインを重視した製品開発とさっぽろブランドの発信 > ○ 使いやすさ、見た目の美しさ等、デザインを重視したものづくりの推進 ○ 札幌の高い都市イメージ等の優位性を活用し、食品産業、農業の連携による新たな特産品づくり、製造業、サービス業等の各産業分野を結びつけた機能的・デザインの的に優れた新製品づくりを推進。「さっぽろブランド」として認知されるべく地域内外に発信	【田村委員意見】 < <u>隣接地域と連携し食品分野の新産業の創出と既存産業の高度化</u> > ○ <u>今後の食料問題を積極的に捉え隣接地域と連携し食品分野の新産業の創出をはかる。</u> ○ 本市で培ってきた産業資源の有効活用による、IT関連産業と他の産業分野の連携促進、市場の拡大が見込まれるデジタルコンテンツ分野の振興 ○ 大学等の地域研究機関の研究成果と地域産業が持っている技術などの連携・融合による、ライフサイエンス、<u>農業</u>、環境、福祉などの分野における技術力向上、新産業の創造 ○ <u>既存産業分野の経営改善</u>、競争力強化による、産業全体の高度化、新たな事業分野への進出促進 < デザインを重視した製品開発とさっぽろブランドの発信 > ○ 使いやすさ、見た目の美しさ等、デザインを重視したものづくりの推進 ○ 札幌の高い都市イメージ等の優位性を活用し、食品産業、農業の連携による新たな特産品づくり、製造業、サービス業等の各産業分野を結びつけた機能的・デザインの的に優れた新製品づくりを推進。<u>札幌発</u>ブランドとして多数認知されるべく地域内外に発信 分科会での主な議論 ● 地域に根ざした健康・医療・福祉ビジネスを育成するべき ● 福祉医療サービスとITの連携等、行政ニーズからの産業振興も検討するべき ● 地域に目を向けた取組みを辛抱強く進め、札幌ブランドを熟成していくべき ● 札幌の経済雇用や新たなまちづくりに関する取組みを積極的に発信するべき（（仮称）札幌ブランド） など

基本目標：元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：アジアの産業ネットワークの拡大

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

市 の 素 案	委 員 意 見 等								
（仮称）戦略目標 多数の市内企業が販路拡大等を目指し、グローバルな経済活動を展開しており、特にアジアとの産業のネットワークが急速に拡大し、観光客等の来客数も飛躍的に増加しています。	【田村委員意見】 多数の市内企業が販路拡大等を目指し、グローバルな経済活動を展開しており、観光客等の来客数も飛躍的に増加すると同時に、<u>居住者も増加し人的ネットワークをもとにアジアとの産業のネットワークも拡大し続けます。</u>								
現状と課題 ○経済のグローバル化が進展。市内企業のビジネスチャンス拡大を図るため、海外市場を視野に入れた経済交流の促進が必要 ○市内全体の海外進出企業数は近年横ばい ○中小企業が国際ビジネスに取り組む場合、資金力やノウハウが課題 ○中国を中心に成長が著しいアジア地域は、販路拡大、貿易振興の最も有望な市場 ○来札外国人の8割を占めるアジアからの来客は、今後も増加の見込み									
各主体の主な役割 <table border="1"> <tr> <td>市民</td><td> ・産業・地域・行政の情報化の推進 ・観光ボランティア等の市民参加の推進 ・国際コンベンションへの市民意識の醸成 </td></tr> <tr> <td>企業等</td><td> ・国際ビジネスへの業務サポート機能の充実 ・企業の国際化を担う人材育成の推進 ・インセンティブツアーの積極的受入れ、アフターコンベンションの企画や実施 など </td></tr> <tr> <td>NPO等</td><td> ・異業種、産学官の協働による事業取組への参加 ・技術研修生の受入れ、専門家の派遣 ・旅行商品の開発、誘致宣伝活動の拡充 など </td></tr> <tr> <td>行政</td><td> ・アジア経済圏との経済交流の促進 ・IT 産業における産学官協働によるアジアとの経済交流の促進 ・海外における来札誘致宣伝活動の拡充 など </td></tr> </table>	市民	・産業・地域・行政の情報化の推進 ・観光ボランティア等の市民参加の推進 ・国際コンベンションへの市民意識の醸成	企業等	・国際ビジネスへの業務サポート機能の充実 ・企業の国際化を担う人材育成の推進 ・インセンティブツアーの積極的受入れ、アフターコンベンションの企画や実施 など	NPO等	・異業種、産学官の協働による事業取組への参加 ・技術研修生の受入れ、専門家の派遣 ・旅行商品の開発、誘致宣伝活動の拡充 など	行政	・アジア経済圏との経済交流の促進 ・IT 産業における産学官協働によるアジアとの経済交流の促進 ・海外における来札誘致宣伝活動の拡充 など	
市民	・産業・地域・行政の情報化の推進 ・観光ボランティア等の市民参加の推進 ・国際コンベンションへの市民意識の醸成								
企業等	・国際ビジネスへの業務サポート機能の充実 ・企業の国際化を担う人材育成の推進 ・インセンティブツアーの積極的受入れ、アフターコンベンションの企画や実施 など								
NPO等	・異業種、産学官の協働による事業取組への参加 ・技術研修生の受入れ、専門家の派遣 ・旅行商品の開発、誘致宣伝活動の拡充 など								
行政	・アジア経済圏との経済交流の促進 ・IT 産業における産学官協働によるアジアとの経済交流の促進 ・海外における来札誘致宣伝活動の拡充 など								

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：アジアの産業ネットワークの拡大

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

市の素案	委員意見等
施策の基本方針 ■ 経済交流を促進し，市内企業のビジネスチャンスの拡大や技術の高度化を図る ■ 観光客等の誘致活動を積極的に進める	
施策 < アジア地域との経済交流の促進 > ○ 物産展・商談会の開催など国際ビジネスを促進するための環境づくり ○ I T ビジネスネットワークの形成による，技術・資本・人材等の新たなビジネス連携の促進 ○ 北京駐在員事務所機能を活用した市内企業の対中国ビジネスの促進 < アジア地域からの集客交流 > ○ 台湾，香港，韓国について，経済的波及効果が高いインセンティブツアー^{注1}を中心とした誘致・P R を強化 注 1 インセンティブツアー：企業や団体が内部の活性化や長期的な観点からの販売戦力として，社員や関係者の販売意欲の向上を図るために招待する団体旅行のこと ○ 高い経済成長が見込まれる中国について，企業視察のニーズの高まりに対応し，旅行業界，本市の I T 産業，食品製造業等と連携し，テクニカルツアー^{注2}の誘致・P R を強化 注 2 テクニカルツアー：工場や店舗などのビジネスの現場や関連する博物館等の施設の視察や関係者による説明・紹介など含む旅行のこと	【高田委員意見】 アジアとのネットワークについて 中国経済は今や，めざましい発展ぶりに驚嘆するばかりであるが，視点をかえて，西洋医学を中心とする日本の医学会において，漢方医学は，今日，日本の医学界に少なからず影響を与えているようである。 このことは，学会をはじめ様々な人的交流も予想される。情報のキャッチこそ大切であり，人材の養成が急務と考える。 分科会での主な議論 ● 札幌の情報価値を高め，発信していくことを具体的に考えるべき（札幌在住の外国人を大切にして，来訪者を増やすべき） など 【田村委員意見】 < アジア地域との経済交流の促進 > ○ 物産展・商談会の開催などを見直し実効性の高いものとし、国際ビジネスを促進するための環境づくりをすすめる。 ○ 技術・資本・人材等の新たなビジネス連携の促進 ○ 北京駐在員事務所機能を活用した市内企業の対中国ビジネスの促進 < アジア地域からの集客交流 > ○ 台湾，香港，韓国について，経済的波及効果が高いインセンティブツアーを中心とした誘致・P R を強化 ○ 高い経済成長が見込まれる中国について，企業視察のニーズの高まりに対応し，旅行業界，本市の I T 産業，食品製造業等と連携し，テクニカルツアーの誘致・P R を強化

経済雇用5課題全体に関連する意見，他の分科会にも関連する意見 など

- 新まちづくり計画全体の大きなキャッチコピーのようなものが必要では。（ノウハウとか，生活スタイルを含めて「札幌らしさ」を「さっぽろブランド」という形で具体的にだすなど）
- さっぽろ市民のニーズにあった，または，札幌市の魅力を高めるようなアクティビティで経済活動を。（基本的には，環境，デザイン，医療，福祉，介護，観光，芸術・文化の分野）
- それらの活動を支援する仕組みという意味で情報などのネットワークにより，色々なことを効率よく動かす。
- 「ＩＴ」をＩＴ産業に限定するのではなく，ＩＴを活用するという形で見る必要がある。
- 他分科会との関連として，芸術・文化の情報発信，魅力的な街なみや景観づくり，医療福祉サービスとＩＴ産業の結びつき，外国人にとっても暮らしやすい環境など。
- 北海道と札幌市の連携は，市の行政にとっても，道の行政にとっても必要なことではないか。
- ４つの分科会に共通するキーワードで全体を押さえておかねばならない（例）安全、男女共同、国際性など。分野をまとめるもっと大きなまちの像みたいなものがあるほうが集約されるかもしれない。など

【高田委員意見】 都市化における農業の再生

日本の農業において，大きく食糧の需給率が問われているが，水田，畑作，果樹，園芸，畜産等，広い分野に亘り，輸出入問題も含めて，様々な規制，補助金問題がある。

しかし，札幌における農業は，園芸、果樹等，都市化による小規模農業が多く，都市周辺の今日的現象と捉えるが，札幌市民の台所をうるおす新鮮な野菜は，生産者と消費者のより深い 関係にあり，食は生きる力なりと解する。

故に生産者への信頼において，又，あらたな先端産業と結びついた札幌ブランド製品の開発等，都市近郊農業ならではのメリットも考えられる。農業指導センターの役割に期待をいたしたい。

記

- 1 都市化における農業の再生は難しいが人材育成が必要
- 2 情報発信，科学する農業についての学習と実践。農業，遺伝子問題，札幌ブランド（付加価値）
- 3 食は生きる力なり，市民は良質な野菜等の供給を願っている，生産者と供給者の信頼の構築

【田村委員意見】

■他の分科会での提言

文化・芸術に携わる市民の社会的地位の向上と支援

（経済効率で図れない文化・芸術の分野で最低限の育成体制の確立とこの分野での雇用の創出）

子育てサロン・高齢者向けの施設を市で提供する。運営は最低の人件費の補助で地域で運営。

バリアフリー公園、コミュニティハウスの設置。連絡所では機能しない。

デイケア等地域で若年層の雇用の創出

上記について市営住宅の開放、職員住宅（官舎）の開放

■成果指標について

数値はこのままでよいと思う。ただこれを評価するのは新まちづくり計画市民会議でおこなうこと。

事業ごとの検証と評価を第三者機関（市民会議委員と公募委員のみ）で行う。

【田村委員意見（続き）】

■分科会に属しない提言

世代別まちづくり市民会議（完全公募制）を常設し随時市長に提言する。

■雇用創出と市のあり方について

責任の所在の明確化を図るための市役所の人事制度の見直し。（過去の責任追及を目的としない。）

課、部、局の統合、簡略化。壁を払ってからスリム化を図る。

市の専門会議、審議会の完全公募制（利害関係の排除）

市営住宅の開放、職員住宅（官舎）の開放

外郭団体の見直し委員会の設置。明確な期限付き （長野県をならって）

市役所管理職の公募制

職員の任期制の導入（真の雇用の流動化→役所で雇用のミスマッチがある？）

公務員（教員含む）の年功序列と終身雇用の廃止

目的のあわせた横断的組織作りに取り組む（時限組織）

公務員を５時間労働にして雇用を拡大。オランダをモデルにする。

■提言書の策定について

新まちづくり計画の提言書の起草委員を設定し提言書をつくる。

成果指標

■ 成果指標とは

まちづくり計画に掲げる政策目標の実現に向けて、具体的な目標となる項目を定め、その目指すべき水準について数値などを用いて定量的にわかりやすく示すとともに、政策・施策の成果を把握していくための指標。

■ 新まちづくり計画での位置付け

- 基本目標に掲げる「望ましい街の姿」の実現に向けて、まちづくりを担う市民・企業・行政などの各主体が協働して、ともに目指していく数値目標。
- より適切な指標の選定や定期的なデータの把握など、時間をかけて検証しなければならない課題があることから、今回は、試行として位置付けている。
- 指標は、できる限り、「成果指標（アウトカム指標）」を採用するが、データがとれないなど設定が困難な場合には、「活動指標（アウトプット指標）」で代替する。

指標の種類

- ・ 活動指標（アウトプット指標）…事業費や事業量など、具体的な活動量や活動実績を測る指標（例：道路の整備延長）
- ・ 成果指標（アウトカム指標）……施策や事業の実施により得られた成果を測る指標（例：交通渋滞の緩和）

■ 指標項目選定の基本的な考え方

- 重点戦略課題ごとに2～5の指標を設定。（全体で50余の項目）
- 市民にわかりやすい指標項目を基本とするが、データ把握の可否なども踏まえて選定。

■ 目標値設定の基本的な考え方

- 既に部門別計画などで目標値が定められているものについては、その考え方との整合性を図る。
- 新たに設定する指標については、指標の現状値や過去の推移、全国の状況などを勘案して目標を設定。

指標項目	現状値	目標値	備考
	（年度）	（年度）	
事業所増加率	▲1.3%	±0	起業などの活発化による経済活力の向上
	（H13）	（H18）	
中小企業向け融資制度の新規融資件数	7,159 件	11,000 件	500 億円の札幌元気基金の創設、利用による増
	（H14）	（H18）	
中小企業向け融資制度の新規融資額	638 億円	2,414 億円	500 億円の札幌元気基金の創設、利用による増
	（H14）	（H16 - 18）	
中小企業支援事業利用実績	3,584 件	5,000 件	きめ細やかな支援の充実による利用増
	（H14）	（H18）	
札幌圏の有効求人倍率	0.38	0.54	多様な雇用機会、充実した就労支援体制などによる全国（H14）との格差の解消
	（H14）	（H18）	
札幌圏の就職者数（月平均）	5,185 人	6,500 人	多様な雇用機会、充実した就労支援体制などによる就職者の増
	（H14）	（H18）	
年間来客数	1,325 万人	1,500 万人	目標値は「集客交流促進プラン」、北海道の観光計画などを勘案して設定
	（H14）	（H18）	
来客の満足度	84.5%	90%	目標値は集客交流・シティPRキャンペーンなどの効果を勘案して設定
	（H14）	（H18）	
ボランティア体験参加者数（延べ人数）	3,609 人	10,000 人	目標値は集客交流・シティPRキャンペーンなどの効果を勘案して設定
	（H14）	（H18）	
コンベンション誘致件数	608 件	1,000 件	目標値は過去の実績、コンベンションセンターの開設効果などを勘案して設定
	（H15）	（H18）	
IT関連産業事業所数	282	314	過去の傾向を上回る事業所数の増
	（H14）	（H18）	
IT関連産業売上高	2,443 億円	3,027 億円	過去の傾向を上回る売上高の増
	（H14）	（H18）	
アジア地域への輸出額（札幌税関所管分）	17 億円	35 億円	過去の傾向を上回る輸出額の増 暦年
	（H14）	（H18）	
来札外国人宿泊者数	232,072 人	400,000 人	目標値は過去の傾向、北海道の観光計画などを勘案して設定
	（H14）	（H18）	